

であった。

言うまでもなく本地方会の発展には我々地方会員の努力は言うに及ばず、学会本部や先輩支部地方会との密接な連携が不可欠です。今後ともご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成十年七月

(文責 福岡地方会幹事 佐藤 裕)

国際シンポジウム

「21世紀を迎える精神医学史——東西二十年の精神医学」

共催・講演：世界精神医学連合「精神医学史」部会、ヨーロッパ精神医学史学会、日本精神医学史学会

International Symposium “History of Psychiatry on the Threshold to the 21st Century——Two Millennia of Psychiatry in West and East”, held under the auspices of the Section “History of Psychiatry” (Chairman: C. Cahn/Canada) of the World Psychiatric Association (WPA), the European Association for the History of Psychiatry and Mental Health Care (EAHP: A. Graf-Nold, V. Barras, J. Gasser/Switzerland), and the Japanese Association for the History of Psychiatry (Chairman: M. Matsushita/Tokyo)

日時 一九九九年三月二十、二十一日(土、日)

場所 名古屋市立大学医学部研究棟講堂

シンポジウムの主要テーマ(一般演題、ポスターも歓迎)とプ

ナリー・セッション演者(1)西欧の古代、中世、ルネサンス、近世、近代の精神医学、(2)中国伝統医学と精神医学、(3)日本の伝統医学・近代医学と精神医学、その他

V. Barras (Lausanne 大学)・G. Berrios (Cambridge 大学)・J. Pigeaud (Orvault 大学研究所)・H. Schott (Bonn 大学)・その他(日本側演者を含む)

学術委員会 C. H. Cahn (Montreal), D. v. Engelhardt (Lübeck), H. Reeman (Oxford), J. Gasser (Lausanne), M. Laharie (Pau), Liao Yugu (Peking), O. Marx (New Hampshire), V. Roelke (Bonn), T. Turner (London), P. Vandersmeersch (Groningen), 浅井昌弘(慶応)、藤縄 昭(京都)、濱中淑彦(名古屋)、波多野和夫(千葉)、飯田 真(新潟)、岩田 誠(東京)、影山任佐(東京)、松下正明(東京)、真柳 誠(茨城)、中谷陽二(東京)、岡田靖雄(東京)、酒井明夫(岩手)、酒井シヅ(順天堂)、杉立義一(京都)、鈴木晃仁(慶応)、高橋 昭(名古屋)、山口成良(金沢)

地元組織委員会・事務局 名古屋市立大学精神医学教室(代表：濱中淑彦)

〒467-8601名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1 Tel: 〇五二一八五三一八二七一一 Fax: 〇五二一八五二一〇八三七